

一般社団法人新都市ハウジング協会では、会員の皆様を対象にこの一年間の調査研究および実験等の成果を報告するために、「調査研究発表会」を毎年開催しています。

平成 30 年度は、CFT 構造賞、都市居住研究委員会および長寿命建築システム普及推進委員会等の調査研究成果の発表に加えて、国立研究開発法人 建築研究所 理事長 緑川 光正氏の特別講演を予定しています。

また、発表会終了後には会員交流会を開催し、発表に関するご意見・ご質問、また当協会が取り組むべき課題に関するご意見・ご要望など、議論を深めたいと思います。多数のご参加をお願い申し上げます。お申し込みは協会ホームページより申込フォームに記載して下さい。

記

日 時：平成 30 年 7 月 6 日（金） 13:00～17:30

場 所：大成建設株式会社 大会議室（東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 52 F）

主 催：一般社団法人新都市ハウジング協会

参加費：会員(会員企業の方)・無料 一般参加者 3,000 円(学生 1,000 円)/人)

交流会：会場(新宿センタービル 6 F) 18:00～19:00 (会員等に限定、参加は任意) 会費 2,000 円 (当日受付にて)

お申込みは 当協会 HP から : <http://anuht.or.jp/>

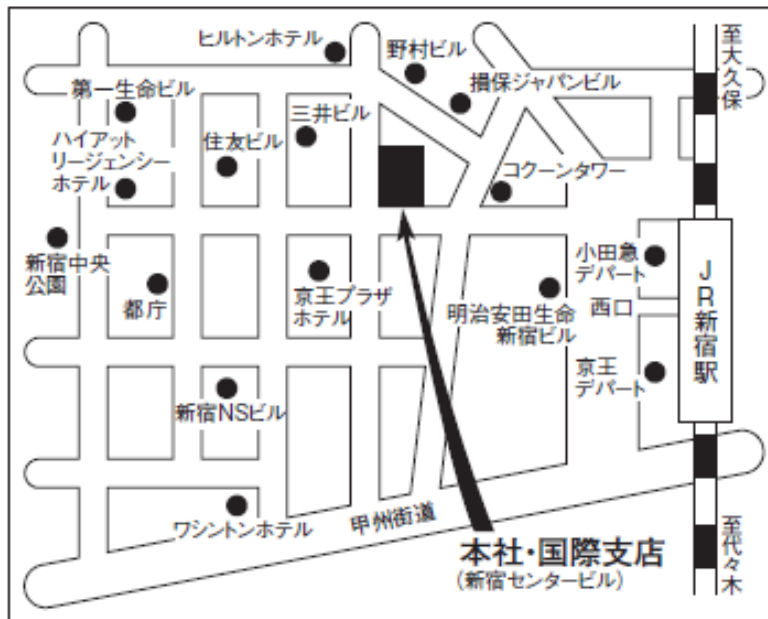
《プログラム (予定)》

2018.06.20

	テーマ等		講演者・発表者
13:00-13:10	開会挨拶	(10分)	専務理事 白井 清広
13:10-14:05	表彰選考委員会の報告	(5分)	表彰選考委員会 委員長 是永 健好 (大成建設株式会社)
	「平成30年度 CFT構造賞」 CFT造普及委員会活動報告	(20分)	CFT普及委員会 委員長 依田 博基 (株式会社 久米設計)
	都市居住研究委員会の活動成果報告	(20分)	都市型住宅分科会 主査 森本 修弥 (株式会社 日本設計)
	設備システム部会活動成果報告	(10分)	設備システム部会 部会長 団栗 知男 (大阪ガス株式会社)
14:05-15:00	建築基礎WG活動成果報告	(5分)	建築基礎WG 主査 成原 弘之 (大成建設株式会社)
	・動的相互作用を考慮した地震応答評価	(20分)	奥村 豪悠 (株式会社竹中工務店)
	・傾斜支持地盤立地建物の地震応答評価	(10分)	小島 宏章 (株式会社大林組)
	・場所打ち杭の耐震限界性能実験結果	(20分)	杉山 智昭 (大成建設株式会社)
15:00-15:20	休 憩	(20分)	CFTのDVDを上映
15:20-16:35	長寿命建築システム普及推進委員会の活動成果報告 ・住棟インフラ整備に関する検討	(25分)	住棟インフラWG 副主査 安達 好和 (アルケー級建築士事務所)
	・地方都市における立地適正化計画に対応した 集合住宅等整備モデルのケーススタディ	(25分)	技術インフラWG オブザーバー 近角 真一 (集工舎建築都市デザイン研究所)
	・立地適正化計画における拠点の連携による次世代 分散型エネルギーインフラシステムの検討	(25分)	技術インフラWG 主査 山崎 雄介 (芝浦工業大学客員教授)
16:35-17:25	特別講演 「地震防災を改めてふりかえる」	(50分)	国立研究開発法人 建築研究所 理事長 緑川 光正氏
17:25-17:30	閉会挨拶	(5分)	常務理事 西川 広一

# 大成建設株式会社 案内図

所在地：新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル  
電話：03- 3348-1111(大代表)



会場：52階 大会議室 エレベーターで52階までお上がり下さい。

12:30 受付開始

13:00 開会

最寄り駅

JR、私鉄、地下鉄 新宿駅西口より 徒歩 約8分